



学会・研究会・講演会
などのお知らせ

第41回 JALC 母乳育児 支援学習会 in 東京

日程：1月22日(日)

場所：シェーンバッハ・サボー(東京都千代田区)

対象：母乳育児を援助する専門家(助産師、看護師、保健師、医師、歯科医師、栄養士など)をはじめ、学生、母乳育児支援団体認定リーダーなど母乳育児支援に興味のあるかたであれば、どなたでも

プログラム：「早期母子接触」加藤育子(IBCLC)／「赤ちゃんにやさしい病院運動の拡大—NICUや地域に広げよう」中村和恵(IBCLC)／「『なかなか食べてくれない』にどう対処する？ 子どもの視点から食事を見直してみよう」大山牧子(IBCLC)／「低出生体重児と母乳育児」齋藤誠(IBCLC)

参加費：事前：会員1万1880円、非会員2万520円、当日：会員1万3000円、非会員2万1000円、学生3000円

申し込み・問い合わせ先：下記URLを参照

URL <http://jal-net.jp>

日本地域看護学会 第20回学術集会

日程：8月5日(土)～6日(日)

会場：別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza(大分県別府市)

テーマ：地域包括ケア時代の地域看護の新展開—一歩前に進んで、つながり、地域ケアを創出する

プログラム：学術集会長講演「地域の未来を支える地域看護学の構築」村嶋幸代(大分県立看護科学大学)／20周年特別講演「新しい地域看護

への示唆—米国における地域包括高齢者ケアの実践と研究から」Kathy Magilvy(コロラド大学)／シンポジウムⅠ「実践者のパワーアップに向けた地域看護の新展開」：①「課題を解決するための地域資源の活用(仮)」岡司和子(大分県国東市国見中学校)、②「『地域ケア』の看護力発揮の心得」佐々木真理子(大分県豊寿苑訪問看護ステーション在宅事業管理部)、③「保健師として地域に責任を持ち、一歩進んで地域資源を創る」堀井とよみ(京都看護大学)、④「地域資源としての大学—大学と実践現場と協働で取り組む保健師現任教育」小野美奈子(宮崎県立看護大学地域看護学)／シンポジウムⅡ「看護基礎教育で地域志向の芽を養う」：①「GIS(地理情報システム)を活用した地域看護診断をとおして(仮)」大河内彩子(横浜市立大学大学院医学研究科地域看護学分野)、②「在宅看護学で学ぶ個別ケアのための地域アセスメント」河野あゆみ(大阪市立大学大学院看護学研究科)、③「地域を志向した予防的家庭訪問実習の取り組みとその効果」岩崎りほ(大分県立看護科学大学)、④「日本地域看護学会が提唱する学士課程における地域看護学(仮)」石橋みゆき(千葉大学大学院)／市民公開講座「ゴミ屋敷に住む人々—助けを求めない人々を地域でどう支えるか」岸恵美子(東邦大学看護学部公衆衛生看護学)／教育講演Ⅰ「健康寿命日本一への取り組みにソーシャルキャピタルをどう活用するか」藤内修二(大分県福祉保健部)、Ⅱ「在宅療養支援研究の最前線」永田智子(東京大学大学院医学系研究科地域看護学分野)、Ⅲ「NPの技量を訪問看護に活かす」光根美保(大分県厚生連訪問看護ステーションつるみ)、Ⅳ「地域包括ケアの奔流の中で地域看護職のチカラを視える化する」成瀬昂(東京大学大学院医学系研究科地域看護学分野)／指定集会Ⅰ「災害時の保健活動について—熊本・大分地震への支援を

振り返って」、Ⅱ「地域包括ケア時代に地域を志向した新しい看護学実習(予防的家庭訪問実習)を経験して」

参加費：事前：会員9500円、非会員1万円、学生(院生を除く)2000円、当日：会員1万1000円、非会員1万2000円、学生(院生を除く)3000円

事前参加申込期間：1月10日(火)～6月30日(金)

一般演題・ワークショップ・自由集会受付期間：1月10日(火)～3月7日(火)12:00

申し込み方法：日本地域看護学会第20回学術集会用ホームページ(<http://jachn20.umin.jp>)より

問い合わせ先：日本地域看護学会第20回学術集会事務局

〒870-1201 大分県大分市廻栖野2944-9 大分県立看護科学大学看護学部広域看護学講座／地域看護学研究室

✉ jachn2017@gm.oita-nhs.ac.jp

本欄へ掲載を希望する学会・研究会・講習会などのお知らせがありましたら、本誌編集室までお送りください。

〒113-8719

東京都文京区本郷1-28-23

FAX 03-5804-0485

✉ hokenshi@igaku-shoin.co.jp